

授業科目 小児発達保健論

【担当教員名】 松井 由美子	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○
【概要・一般目標：G10】 本科目では、基本となる子どもの発達や特徴を学び現代の子どもの生活に目を向けながら小児保健の現状と意義について考察する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1) ヘルスプロモーションの理念を説明できる。 2) 子どもを取り巻く社会環境について統計的指標から説明できる。 3) 子育て支援を中心とする母子保健施策の内容を列記できる。 4) 成長・発達の原則を理解しその評価方法を列記できる。 5) 小児各期における成長・発達の特徴と健康問題を述べられる。 6) 小児の栄養の重要性について説明できる。 7) 子どもの健康増進や正常な発達を阻害する因子を取り上げその対策について説明できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業ガイダンス・小児保健の基本概念		1～7	講義、担当：松井 由美子
2	小児の保健統計		2、3	講義・演習、担当：松井 由美子
3	小児期の成長・発達		2、3	講義、担当：松井 由美子
4	小児各期における成長・発達		4、5	講義、担当：松井 由美子
5	小児に多い事故と安全対策		4、5	講義・演習、担当：松井 由美子
6	小児の栄養		6	講義、担当：松井 由美子
7	小児の病気の予防～予防接種		1～7	講義、担当：松井 由美子
8	まとめ・練習問題			担当：松井 由美子
【使用図書】				
教科書 (必ず購入する書籍)	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
	ナーシング・グラフィカ 小児看護学1 小児	中野綾美編集	株式会社メディカ出版	2006・3,800円+税
参考書	国民衛生の動向 2015 日本子ども資料年鑑 2014			
その他の資料				
【評価方法】 筆記試験(80%程度) レポート(20%程度)		【履修上の留意点】 統計資料からみえる子どもとその家族の課題について考えましょう。		